

令和7年度

自己評価報告書

東金市立日吉台小学校

目 次

1 「自己評価結果報告書」記入についての留意点	3
2 学校教育目標と学校経営の重点	4
3 学校評価アンケート結果	5
4 具体的な評価項目の取組・達成状況	6
5 学校関係者アンケートの結果	8
6 総合的な評価結果	9
7 令和7年度取り組むべき課題	11

1 「自己評価報告書」記入に際しての留意点

- (1) 「具体的な評価項目の取組・達成状況」の「評価項目」については、「本年度の重点目標」の項目1つに対して2項目程度設定する。
- (2) 「具体的な評価項目の取組・達成状況」及び「学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果」の表示方法については、次のとおりとする。
 - A 十分達成されている
 - B 達成されている
 - C 取り組まれているが成果が十分でない
 - D 取組が不十分である
- (3) 「学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果」については、「具体的な評価項目の取組・達成状況」を総合的に評価して記入する。
- (4) 「今後取り組むべき課題」については、評価項目を課題とするだけでなく、指標や規準等できるだけ具体的な視点から課題を記入することが望ましい。

2 学校教育目標と学校経営の重点

やさしく、かしこく、たくましく、 心豊かで、笑顔かがやく児童の育成

めざす学校像

- 4つの「いっぱい」があふれる学校
～夢いっぱい・笑顔いっぱい・花いっぱい・歌声いっぱい～
- 明るくきれいで、安全で安心できる学校
- 児童・保護者・地域から信頼される学校

めざす児童像

やさしく

思いやりの心もち、
人にやさしい子

- ① 道徳教育の充実を図り、人にやさしい豊かな心を育てる。
- ② 挨拶・返事・歌声・掃除の励行を通して、他を尊重し、互いに認め合い、助け合う心の育成を図る。
- ③ 人権意識を高め、いじめのない学校づくりに、児童・保護者・教職員が一丸となって取り組む。
- ④ 異学年集団の交流を推進し、協調性や連帯感を育成する。

かしこく

よく学び、よく考え、
表現できる子

- ① 基礎・基本の定着と学力向上をめざすとともに、学習規律の定着及び個に応じた指導の充実を図る。
- ② 児童が互いに学び合う場を設定し、「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業改善に努める。
- ③ 一人一人の教育的ニーズ等に対応した特別支援教育の推進を図る。
- ④ ICT利活用、及び外国語教育の充実を推進する。

たくましく

健康で明るく、
体も心もたくましい子

- ① 運動することの楽しさや喜びを味わわせ、児童の体力と気力の向上を図る。
- ② 「早寝・早起き・朝ごはん」等の健康にかかわる指導をとおして、望ましい生活習慣の定着を図る。
- ③ 学校栄養職員を生かし、食に関する指導の充実を図る。
- ④ 安全教育・防災教育を充実させ、「自分の命は自分で守る」意識の定着を図る。

めざす教師像

- 常に児童に寄り添い、愛情を持って支え導く、信頼される教師
- 児童一人一人の良さを認め、やる気を高め、個性を伸ばす教師
- 責任感と協調性を持ち、互いに支え合い、高め合う教師

学校経営の重点

- ① 夢をもち、その実現に向けて努力できる児童を育成する。
- ② 豊かな心をもった児童を育成する。
- ③ 自ら学ぶ意欲を身につけた児童を育成する。
- ④ 健康な体をもった児童を育成する。
- ⑤ 家庭・地域に信頼される学校づくりを進める。

地域とともに

- ① 「保護者と教職員の会」と連携を図り、保護者と学校がともに支え合う体制づくりに努める。
- ② 地域の自然や人材からも学び、環境や伝統を大切にする心を育てる。
- ③ 学校評価を活用し、学校や教育活動の改善に役立てる。
- ④ 学校運営懇談会を活用し、学校の応援団とする。
- ⑤ 家庭・地域と幼保小中の連携を強める。

3 学校評価アンケート結果

※3+4は肯定的な意見の割合、2+1は否定的な意見の割合

令和7年度 日吉台小学校 学校評価アンケート										
第2学期末に、ご協力いただきました「学校評価アンケート」の集計結果をご報告させていただきます。各項目とも、評価4(よい)と評価3(どちらかといえばよい)の合計値が80%に満たない項目については、特に今後の課題として改善に努めてまいります。学校と家庭双方からの取り組みを行い、学校経営の向上と、児童の成長を目指していきたいと思っております。※3+4は肯定的な意見の割合です。2+1は否定的な意見の割合です。										
令和7年度 学校評価《家庭・児童・職員アンケート》の結果										
実施日 令和7年12月2日										
No.	項目	評価者	回収数					3+4	2+1	
			保護者	132	職員	21	児童			229
			評価	4	3	2	1			回答なし
1	学校は、人に優しくすることができる子どもを育てようとしている。	保護者	29.5%	59.1%	11.4%	0.0%	0.0%	88.6%	11.4%	
		職員	90.5%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	児童	69.9%	23.1%	3.9%	3.1%	0.0%	93.0%	7.0%		
2	学校は、わかりやすい授業を行っている。	保護者	37.9%	50.0%	10.6%	1.5%	0.0%	87.9%	12.1%	
		職員	42.9%	52.4%	4.8%	0.0%	0.0%	95.2%	4.8%	
	児童	55.5%	35.8%	7.4%	1.3%	0.0%	91.3%	8.7%		
3	学校は、体力向上に取り組んでいる。	保護者	26.5%	52.3%	18.9%	2.3%	0.0%	78.8%	21.2%	
		職員	23.8%	66.7%	9.5%	0.0%	0.0%	90.5%	9.5%	
	児童	63.3%	27.1%	7.4%	2.2%	0.0%	90.4%	9.6%		
4	学校は、居心地の良い学級づくりにも努めている。	保護者	29.5%	56.1%	13.6%	0.8%	0.0%	85.6%	14.4%	
		職員	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
5	学校は、子どもの人権を尊重して指導にあっている。	保護者	28.0%	60.6%	9.8%	0.8%	0.7%	88.6%	10.6%	
		職員	81.0%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
6	学校は、個に応じた細やかな指導・支援をしている。	保護者	28.8%	47.7%	21.2%	2.3%	0.0%	76.5%	23.5%	
		職員	66.7%	28.6%	4.8%	0.0%	0.0%	95.2%	4.8%	
	児童	79.9%	16.6%	3.5%	0.0%	0.0%	96.5%	3.5%		
7	子どもは、家庭学習にしっかりと取り組んでいる。	保護者	25.8%	43.9%	25.0%	5.3%	0.0%	69.7%	30.3%	
		職員	42.9%	52.4%	0.0%	4.8%	0.0%	95.2%	4.8%	
	児童	53.3%	29.3%	12.2%	4.4%	0.9%	82.5%	16.6%		
8	学校は、いじめのない学級・学校づくりに努めている。	保護者	28.8%	56.1%	12.9%	2.3%	0.0%	84.8%	15.2%	
		職員	76.2%	23.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	児童	80.3%	14.8%	3.5%	1.3%	0.0%	95.2%	4.8%		
9	学校は、学習環境を整えている。	保護者	34.1%	53.0%	11.4%	1.5%	0.0%	87.1%	12.9%	
		職員	57.1%	33.3%	9.5%	0.0%	0.0%	90.5%	9.5%	
10	学校は、けがや病気に対して、適切に対応している。	保護者	49.2%	43.2%	6.1%	1.5%	0.0%	92.4%	7.6%	
		職員	81.0%	14.3%	4.8%	0.0%	0.0%	95.2%	4.8%	
11	学校は、安全のための対策をとっている。	保護者	43.2%	53.0%	3.0%	0.0%	0.7%	96.2%	3.0%	
		職員	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	児童	76.4%	17.5%	4.4%	1.7%	0.0%	93.9%	6.1%		
12	学校は、児童理解に努めている。	保護者	32.6%	52.3%	11.4%	3.8%	0.0%	84.8%	15.2%	
		職員	90.5%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	児童	78.6%	15.7%	4.8%	0.9%	0.0%	94.3%	5.7%		
13	学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。	保護者	31.8%	48.5%	18.2%	1.5%	0.0%	80.3%	19.7%	
		職員	61.9%	33.3%	4.8%	0.0%	0.0%	95.2%	4.8%	
14	学校は保護者に対して、丁寧に相談に応じている。	保護者	37.9%	50.0%	11.4%	0.8%	0.0%	87.9%	12.1%	
		職員	71.4%	23.8%	4.8%	0.0%	0.0%	95.2%	4.8%	
15	「保護者と教職員の会」の活動は、活発に行われている。	保護者	37.1%	50.8%	10.6%	0.8%	0.7%	87.9%	11.4%	
		職員	42.9%	47.6%	4.8%	4.8%	0.0%	90.5%	9.5%	
16	学校は保護者や地域と連携しようとして努めている。	保護者	31.8%	55.3%	12.1%	0.8%	0.0%	87.1%	12.9%	
		職員	52.4%	42.9%	4.8%	0.0%	0.0%	95.2%	4.8%	

以上の結果から、学校は次のことに取り組みます。

- 1 休み時間における外遊びの励行や体育の授業での走力を高める取組および縄跳びを活用した取組などを通して、体力向上を図っていく。
- 2 児童一人一人のよさや困り感に目を向け、長所をさらに伸ばすとともに、困難や課題を克服できるよう一人一人のニーズに寄り添い指導をする。
- 3 知りたい、学びたい気持ちが育つよう工夫した授業、充実した授業を展開する。また、学校と家庭と協力し、自学習が習慣化できるよう努めていく。

4 具体的な評価項目の取組・達成状況

※1()内の数字は関連するアンケートの番号

※2 4と3の割合が80%を超えたものをA、それ以下をBと評価した。保護者、職員、児童の見解が異なるときは全体から判断した。

	評価項目	結果	詳細	総合判定
1 やさしく	(職・保)学校は、人に優しくすることができる子どもを育てようとしている。(1) (児)明るい気持ちで、友達と仲良く生活している。(1)	A	この項目は、職員、児童が高い評価である。学校生活が楽しい理由として「友達に会えるから」「休み時間に友達と遊べるから」「友達が優しいから」をあげている児童が多く、友達との良好な関係がうかがえる。しかし、友達から嫌なことを言われたり、されたりしている児童もいる。教育相談の充実や相談員、スクールカウンセラーとの連携を密にし、人に優しくできる心を育てていく。	A
	(職・保)学校は、いじめのない学級・学校づくりに努めている。(8) (児)いじめをしないで友達に親切にしている。(8)	A	学校はいじめゼロ集会、いじめゼロ宣言や教育相談を積極的に行い、いじめをなくすように努めている。アンケートによる悩み相談を行い、保護者や児童の悩みには早急に対応している。しかし、今年度は多くのいじめ認知件数が確認され対応してきた。いじめを生まない学級づくり、心を育てる道徳教育など教職員全体でいじめのない学校づくりを目指していく。	
	(職・保)学校は、居心地の良い学級作りに努めている。(4)	A	全学的に欠席の児童は少なく、子どもは楽しく元気に登校している。その一方で、30日以上欠席の児童が6名いる。(うち1名が長期帰国する外国籍)また、遅刻が多い児童も目立つ。居心地の良い学校づくりを今後も整えていく。	
2 かしこく	(職・保)学校は、わかりやすい授業を行っている。(2) (児)よく考えて学習している。(2)	A	算数での少人数指導、理科専科による授業、毎月の月末テストの実施等、学力向上の取組を行っている。職員は、わかりやすい授業を今後も行うとともに、準備時間の確保や授業形態の工夫、習熟度を確認するための小テスト等の対策をとっていく必要がある。今年度は基礎学力定着のための補習授業(レベルアップタイム)を年4回実施した。	B
	(職・保)学校は、個に応じた細やかな指導・支援をしている。(6) (児)先生は、わかりやすく勉強を教えてくれる。(6)	B	少人数担当や学習サポーターを配置し、一斉授業の中で個に応じた指導を実施してきた。配置する教員を増やすことできめ細やかな指導体制は整備できたが、個々の実態に応じた手立て、指導の工夫に苦慮した。	
	(職)家庭学習にしっかりと取り組ませている。(7) (保)子どもは、家庭学習にしっかりと取り組んでいる。(7) (児)家庭学習をしっかりと行っている。(7)	B	学校では、家庭学習を充実させるため、各学年・学級で工夫した取組を行い家庭学習の定着を図ってきた。しかし、保護者、児童ともにまだまだ不十分と考えている。 学年×10分間の家庭学習が習慣化できるよう家庭に協力を得ながら、学校では「知りたい」「学びたい」と思えるような授業を展開し、自ら学ぼうとする意欲を高めていく。	
3 たくましく	(職・保)学校は、体力向上に取り組んでいる。(3) (児)進んで体を鍛え、元気に過ごしている。(3)	B	体力の向上については、昨年度より評価が下がった。外遊びの励行や縦割り遊びの充実により、体を動かす機会を意図的に増やしたが、成果として表れていない。 次年度は、体育の授業での走力を高める取組をさらに充実させるとともに、学校での取組や児童の記録、成長を学校だより等で積極的に発信していく。	A
	(職・保)学校は、けがや病気に対して、適切に対応している。(10)	A	健康観察を適切に行い、児童の健康状態を把握する仕組がきちんと整っている。学期毎の身体計測を行い、児童の発達状態を的確につかみ、健康カードを作成し、適切な指導を行っている。保健指導では、疾病予防のための方策(うがい・手洗い・マスク)の指導を行っている。怪我や体調不良などは、保護者に必ず連絡し、様子を伝えている。	

4 開 か れ た 学 校	(職・保) 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。(13)	A	学校だより、学年だよりなどの配付物を各家庭に情報がきちんと伝わるように心がけている。学校生活における児童の様子は、連絡帳や連絡メールなどでできるだけ保護者に伝えるようにしている。登校が確認できない児童へは、毎朝、学校が保護者へ電話連絡することで、意思疎通ができています。	A
	(職・保) 学校は、保護者に対して丁寧に相談に応じている。(14)	A	保護者からの相談は早急に対応できるよう努めている。学校への苦情があった場合は、その原因を探り、児童の気持ちや保護者のニーズに寄り添った対応ができるよう教職員で共通理解を図っている。	
	(職)「保護者と教職員の会」の活動に積極的に関わっている。(15) (保)「保護者と教職員の会」の活動は、活発に行われている。(15)	A	本部役員、行事部、広報部、文化部、防犯部、学年委員が、それぞれの自治的な活動を積極的に行っており、受け継がれている。保護者と教職員とのかかわりを深めながら、児童が主体となる活動を計画できるとよい。	
	(職・保) 学校は保護者や地域と連携しようと努めている。(16)	A	日吉台地区の各区長をはじめ、地域のボランティアの方と連携して登下校の見守りや環境整備を行っている。授業参観や運動会などの行事に対しての保護者の参加人数も多く、休日の美化活動にも協力的である。保護者の評価は、比較的に高い結果だった。	
5 安 心 ・ 安 全 な 学 校	(職・保) 学校は、安全のための対策をとっている。(11) (児) 安全な自転車の乗り方をし、交通ルールを守っている。(11)	A	定期的な安全指導、登校指導を実施している。また、下校時には保護者と教職員の会による学区内パトロール等が盛んに行われている。また、避難訓練や引き渡し訓練、集団下校を行い、非常時に備えている。 自転車の乗り方、横断歩道の渡り方等については、今後も引き続き指導を続け、自分の身は自分で守る力を育てていく。	A
	(職・保) 学校は、学習環境を整えている。(9)	A	安全点検を実施し、破損箇所の修復を速やかに行っている。日々の巡回点検、毎月の施設点検を行い、破損があれば直ちに修理および修繕依頼に対応している。 花いっぱい学校を持続させるため、栽培委員や理科担当、用務員を中心に栽培活動を積極的に行っている。花壇には四季折々の花が咲いている。	
6 人 権 ・ 児 童 理 解	(職・保) 学校は、児童理解に努めている。(12) (児) 先生は、話をよく聞いてくれたり、相談にのってくれたりする。(12)	A	児童理解のための教育相談を学期に一回行い、悩みの解決や、いじめの早期発見、早期対応を心がけている。職員は、児童一人一人の個性を認め、理解するために努力している。 また、積極的にスクールカウンセラーにつなげ、連携をとっている。高学年において全員面談を実施した。	A
	(保・職) 学校は、子どもの人権を尊重して指導にあたっている。(5)	A	全職員で体罰、セクハラの防止に関する研修を実施し、児童一人一人の人格を大切にすることに取り組んでいる。児童への接し方、指導の際の言動に十分気をつけて、教師としての立場、教育公務員であることを自覚し、公正・公平な態度で指導にあたっている。	

5 学校関係者アンケートの結果

令和7年度 日吉台小学校 学校関係者アンケート					
学校運営懇談会実施日 令和8年2月6日 ※4十分できている 3まあまあできている 2あまりできていない 1できていない					
アンケートの内容					
No.	項 目	回収	12名	回収率	100.00%
		4	3	2	1
1	子どもたちは明るい挨拶ができ、元気に生活することができる子どもに育っている。(明るく親切で思いやりのある子)	63.6	36.4	0.0	0.0
2	子どもたちはお互いに協力し、仲の良い集団に育っている。(明るく親切で思いやりのある子)	63.6	36.4	0.0	0.0
3	まじめな学習態度で授業に真剣に取り組んでいる。(よく考えて学ぶ子)	83.3	16.7	0.0	0.0
4	読み・書き・計算など基礎的・基本的な学習内容を、身につけている。(よく考えて学ぶ子)	44.4	55.6	0.0	0.0
5	学校は、お便りや、ホームページ等で情報の伝達や公開に努めている。(地域や家庭との連携)	50.0	50.0	0.0	0.0
6	学校は、保護者に学校の考えを伝え、授業や行事を公開し連携の強化に努めている。(地域や家庭との連携)	50.0	50.0	0.0	0.0
7	学校は、施設・設備などの学習環境を整えている。(学校運営)	72.7	18.1	9.2	0.0
8	学校は、子どもの安全のための対策をとっている。	77.7	22.3	0.0	0.0
<p>【お気づきの点・ご意見(抜粋)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導要領では「個別最適な学習」と「協同的な学び」とある。この2つが一緒に回ることで授業の質があがる。 ・昨年度と比較し、③⑥⑦の項目で保護者評価が低い。一方で児童の評価は高い。保護者の学校へのイメージ、受け取り方はどうか。 ・一人の先生が238名全員の顔を知ることが大切。担任以外にも相談できるとすばらしい。 ・多くの保護者が参観しているのは、学校と保護者の連携がよくできているからだと思う。父親、母親ともに多く参観されており、良いことだと感じた。 ・授業が工夫されていた。低学年は楽しく、高学年を真剣に学び、中学へ送り出す準備が整っていると思った。学校評価については、児童の評価を受け止め、地震をもって学校運営を進めてほしい。 ・思った以上に子ども達の積極的な発言や行動に関心しました。保護者と学校との間でノートや言葉でのやりとりが少なくなってしまう結果、行き違いが生じているところがあると思います。 ・登校時にいつも元気がない子が、楽しそうに授業に参加している姿を見れてうれしかったです。 ・児童一人一人がまじめに取り組んでいた。低学年において発表するときに立ち上がり、椅子を机の中に入れていたのが印象的だった。 ・全体的に落ち着いた雰囲気と先生方の生き生きとした表情で授業実践されていたことがすばらしかったと思いました。 					

6 総合的な評価結果

結果	理由
A	<p>全体では評価16項目中、A評価14項目、B評価2項目であった。95%を超えた項目も多くあり、学校の教育方針や学校運営について一定の理解を得られているとあってよい。しかしながら、改善すべき点もいくつかあることから、さらに努力を続けていきたい。</p> <p>1 「やさしく」</p> <p>「思いやりの心を持ち、人にやさしい子」の育成に向け、道徳教育を全教育活動をとおして充実させてきた。特に、いじめのない学校づくりについては、担任だけではなく、子どもと親の相談員、スクールカウンセラーを含めた全職員で連携している。児童の人間関係や学習・生活の様子を注意深く観察したり、気になる児童については情報交換を随時行うなどしたりして、児童の変容に敏感に対応できる体制を整えてきた。また、教育相談アンケートを毎学期実施し、それをもとに担任と児童の個別の面談を行い、児童の悩みに寄り添い、問題解決に向けて迅速に対応してきた。一方で、不安に感じている保護者もいることから、学校での取組を積極的に発信したり、保護者が相談しやすい関係を構築したりと、今後も力を注いでいく必要がある。</p> <p>2 「かしこく」</p> <p>「よく学び、よく考え、表現できる子」の育成に向け、算数での少人数指導を充実させ、きめ細かな指導に努めてきた。保護者の評価では、「一人一人の個に応じた細やかな支援をしている」について、昨年度より評価が上がっている。しかし、家庭学習についての評価は昨年度同様、他の項目と比べ保護者、児童ともに高くはない。家庭学習の取り組み方を見直すとともに、習熟度別の対策をしていくことで、より一層の学力の向上を目指していきたい。</p> <p>3 「たくましく」</p> <p>「健康で明るく、体も心もたくましい子」の育成に向け、正課体育の時間の充実や休み時間の外遊びの奨励など、1年間を通して取り組んできた。児童が丈夫な体をつくり体力向上が図れるよう体育の授業を充実させるとともに、縦割り班活動の機会や内容を検討していく。また、適切に健康状態を把握し、保護者と情報共有ができていたので、保護者の評価も高く、学校での取組について理解を得られている。今後は、食育や防災教育の充実もさらに図り、バランスの取れた児童の育成に努めたい。</p> <p>4 「開かれた学校」</p> <p>「開かれた学校」についての保護者の評価は、どの項目も高かった。これからも関係機関と連携し、地区の方や保護者、学校運営懇談会などでいただいた意見をもとに、改善していくべきところは前向きに取り組んでいきたい。</p>

5 「安心・安全な学校」

「父母と先生の会」の活動による学区内パトロールを行っている。多くの保護者が児童の安全な登下校に関わり、より安心・安全な学校・学区となるような取組がなされている。職員は、毎月第1月曜日に登校指導、必要に応じて、放課後に学区のパトロールを行っており、見守り体制を強化している。また、日吉台地区区長の協力のもと、「こども110番の家」が設置され、児童の安全について、地域と学校との連携体制が構築されてきている。児童が安心・安全に登校できるように、今後も地域との連携を図っていきたい。

6 人権・児童理解

児童一人一人の人権を守るため、普段から児童に丁寧な言葉遣いを心がけるなど、人権に対して注意を払っている。セクハラ・体罰など、児童の人権が損なわれることが無いように職員研修をしっかりと行っている。今後も継続して取り組まなければならない。

7 総合評価

本年度は、16項目中、14項目で85%以上の評価であったため、総合評価をAとした。評価の低かった家庭学習への取組については、次年度の課題としなければならない。

7 令和7年度取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
健康な体をもった児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体力向上については、児童の現状をよく分析し、体育の授業にサーキットや体力作りの活動を全校で共通して継続して取り組んでいく。 ・ 縦割り班活動の機会や内容を検討し、児童が意欲的に取り組めるように考えていく。
いじめのない学校作り	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめは必ず発生する恐れがあることを認識し、小さな問題を見逃さず、適切な対応を心がける。 ・ アンケートを活用し、いじめの早期発見を心がけ、家庭との連携を密にしていじめ根絶に取り組む。 ・ すべての教育活動において道徳教育を重視し、優しい心、豊かな心の育成に取り組む。 ・ 児童の活動によるいじめ撲滅に取り組み、児童一人一人がいじめを許さない校風を作っていく。
家庭学習の習慣化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生の段階で、毎日机に向かう習慣を身に付けることが、学力向上につながるということを家庭にも理解してもらおう。そのため、学校便りや学年だよりで伝えていき、家庭と連携して取り組んでいく。 ・ 家庭学習の習慣化を図るために、家庭学習の内容や方法について、学校でも指導したり、がんばっている児童を紹介したり称賛したりして、意欲をもたせる工夫をする。
子ども一人一人に必要な応じた細かな支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童個々が抱える問題や児童の良い面を十分に観察し、つまづきや、悩みを抱える児童をきちんと把握する。その上で、一人一人にあった支援を講じる。 ・ 支援を必要とする児童に対し、学級担任と少人数指導担当や学習サポーター、支援員、特別支援教育コーディネーターが連携し、一人一人の必要に応じた支援を行っていく。